発信人 日本国特許庁(国際調査機関) 出願人代理人 青山 葆	19 JUL 2004 15.3.19
殿あて名	PCT
〒 540-0001 大阪府大阪市中央区城見一丁目3番7番 IMPビル 青山特許事務所	追加して納付すべき手数料の納付命令書 (法第8条第4項、法施行規則第43条第1項) [PCT17条(3)(a)、規則40.1]
	発送日 18.05.03
出願人又は代理人 の書類記号 663621	納付期間 上記発送日から 1 月 <del>/日</del> 以内
国際出願番号 PCT/JP03/00455	国際出願日 (日.月.年) 21.01.03
出願人(氏名又は名称) 松下電工株式会社	
<ul> <li>1. この国際調査機関は、         <ul> <li>(i) 次<del>プ別紙</del> に示す請求の範囲に記載されている 請求の範囲1, 2, 3, 4 − 5, 6, 7, 8 −</li> <li><del>次プ</del>別紙 に示す理由により、この国際出題は、13.2及び13.3)) を満たしていないと認める</li> </ul> </li> </ul>	-9, 10, 11, 12, 13 は発明の単一性の要件(法施行規則第13条(PCT規則13.1
(ii) 区 部分的に調査報告を作成した(付属書類: 間求の範囲に最初に記載されている発明 について国際調査報告を作成する。	に係る部分(請求の範囲)
査報告を作成する。	付された範囲に限り、国際出願のその他の部分について国際調 - ト も 会 !* ス
	- 2 を印しる。 3 3, 0 0 0 円 E数料の絵額

3. X 請求の範囲 14-17 とができないので、どの発明に	は、法第8条第2項各号の一に該当し(PCT17条(2))、 こも含まれていない。	国際調査を行うこ
	I large a har state E	3E 9252
名称及びあて名	権限のある職員	3E 3232

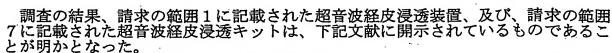
出願人は、法施行規則第44条 (PCT規則40.2(c)) の規定により、異議の申立て、すなわち、この国際出願が発 明の単一性の要件を満たしている旨又は要求された追加手数料の額が過大である旨の理由を示した陳述書の提出とと

日本国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

もに、追加手数料の納付をすることができる。

電話番号 03-3581-1101 内線 3344

(添付用紙の注意書きを参照)



結果として、請求の範囲1及び7記載の発明は、新規なものではなく、先行技術 の域を出ないから、PCT規則13.2の第2文の意味において、請求の範囲1及 び7には特別な技術的特徴はない。

それ故、請求の範囲全てに共通の事項はない。

PCT規則13.2の第2文の意味において特別な技術的特徴と考えられる他の 共通の事項は存在しないので、それらの相違する発明の間にPCT規則13の意味 における技術的関連を見いだすことはできない。

よって、請求の範囲1-13は発明の単一性を満たしていないことが明かであ

る。 そして、請求の範囲2は、特定の制御内容の「制御部」を備えた、超音波経皮浸透装置に関するものである。

請求の範囲3は、特定の「検知部」を備えた、超音波経皮浸透装置に関するもの

である。

請求の範囲4, 「周波数が異なる2以上の超音波を照射する」 5は、

を備えた、超音波経皮浸透装置に関するものである。 請求の範囲6は、温熱治具、マッサージ治具、電気刺激治具、及び、光刺激治具のいずれか一つをさらに備えた、超音波経皮浸透装置に関するものである。

請求の範囲8は、超音波の周波数範囲を特定した、超音波経皮浸透キットに関す るものである。

請求の範囲10は、特定の「有効成分」を備えた、超音波経皮浸透キットに関す るものである。

請求の範囲11は、別の「有効成分」を備えた、超音波経皮浸透キットに関する ものである。

請求の範囲12は、さらに別の「有効成分」を備えた、超音波経皮浸透キットに 関するものである。

請求の範囲13は、 「剤」が「基材に含浸されている」、超音波経皮浸透キット に関するものである。